

「緑の防潮堤」 岩沼海岸植樹式 実施状況

国土交通省では、仙台湾南部海岸において、津波や高潮による被害を軽減するため、海岸堤防の復旧を進めています。

その際、防災機能を高めることはもとより、自然環境や景観に配慮することは重要です。このため、国土交通省では、このたび、宮脇昭氏（横浜国立大学名誉教授）提唱の”潜在自然植生に合致した広葉樹が混成する森で防潮堤を作る”という「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を取り入れ、海岸堤防の陸側に植生の基盤となる盛土を整備しました。そして、5つの関係機関・団体が主体となり、広く国民の方々の積極的な参加をいただき、この盛土部分に植樹を行って森づくりを行い、これにより「緑の防潮堤」を整備しました。

○植樹式 会場位置



○植樹式 概要

開催日時：平成25年6月30日 14:00~16:00

開催場所：宮城県岩沼市下野郷地内（岩沼海岸 相ノ釜地区海岸）

実施団体等：国土交通省東北地方整備局、宮城県、岩沼市
公益財団法人 瓦礫を活かす森の長城プロジェクト
「いのちを守る森の防潮堤」推進東北協議会

参加者：約700名（うち一般参加者：約600名）

○植樹式 次第

1. 主催者代表挨拶
2. 来賓祝辞
3. 来賓紹介
4. 祝電披露
5. 植樹指導（宮脇 昭氏）
6. 植樹

○主催者代表挨拶



太田 国土交通大臣



三浦 宮城県副知事



井口 岩沼市長

○来賓祝辞



西村議員(衆)



「いのちを守る森の防潮堤」推進議員連盟
幹事:小泉議員(衆) 会長:岩城議員(参) 幹事長:川口議員(参)



宮城県議会「いのちを守る森の防潮堤」推進議員連盟
会長:相沢議員

○植樹指導の状況



宮脇 昭氏による植樹指導



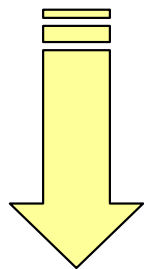
※ ボランティア参加者が特定できないよう、画像の一部を加工しています。

○植樹の状況

植樹作業

植樹作業

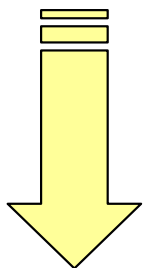
来賓と一般参加のボランティアなど、約700名による植樹



マルチング作業

植樹後の稲わらマルチング作業

マルチング作業は、土の乾燥を防ぐほか、雑草の抑制を目的に実施



作業完了

大勢の皆さまの協力によって植樹開始から約1時間で作業を完了



植樹完了状況（堤防の上から）



植樹完了状況（堤防の下から）

植樹の樹種及び本数、将来のイメージ

○植樹の樹種及び本数

シイ・タブ・カシなど広葉樹（常緑高木）を主体に高木10種、及び低木5種、約7,000本を植樹しました。

○植樹した樹種と本数

種類	樹種名	本数
常緑高木	タブノキ	1,175
	シラカシ	1,363
	ウラジロガシ	940
	アカガシ	822
	アラカシ	940
	スダジイ	352
落葉高木	ヤマザクラ	235
その他の高中木（3種）		177
常緑低木	マサキ	989
その他の低木（4種）		429
合計（15種）		7,422

○ポット苗のサンプル（高木）



苗木は、（公財）瓦礫を活かす森の長城プロジェクトから提供

○樹木が成長した将来のイメージ

